

教科	社会	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	13	①緯度と経度、世界各国との時差などを基に世界と日本の地域構成を大観し理解させる。 ②世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	緯度と経度、世界各国との時差などを基に、世界と日本の地域構成を大観し理解している。	世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察している。	世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
人々の生活と環境	12	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然から影響を受けたり、その場所の自然に影響を与えたりすることを理解させる。 ②世界各地における人々の生活の変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然などに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	30	①ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。 ②ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界と比べた日本の地域的特色	15	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追求したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を、地域の共通点や差異、文王などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。
歴史の捉え方・調べ方	5	小学校で学習した歴史上の人物などについて振り返り、年表に整理する作業を通して、時代の特徴や歴史の移り変わりへの興味や関心を高める。 時代区分の方法や年代の表し方を身に付ける。	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目しながら、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察している。	私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

原始・古代の日本と世界	15	人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考える。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。	世界の古代文明のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめ、世界各地で文明が築かれたことを理解している。 国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを	世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察している。 農耕の広まりによる人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。	7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、日本独自の文化が生み出されたことについて、そこで見られる課
中世の日本と世界	15	武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。 南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関りとともに理解する。 室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。 武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察している。 民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察している。	武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に追究している。